

## 実施状況（令和4年度）

令和4年度は、自転車交通安全対策重点推進地域に指定した市町等所在の高等学校及び特別支援学校の計6校において実施し、1,425人の高校生が参加しました。

実施後のアンケート調査では、「スケアード・ストレイトと今まで受講した交通安全教室や講話等と比較してどうか」との問いに対し、**96.3%**の生徒が「とてもよかった・まあまあよかった」と回答しています。

また、「仮想交通事故を見て、自転車の走行をもっと注意しなければならない」と感じた生徒が**97.4%**にのぼりました。

教室を受講した生徒からは、他にも

「自転車は便利だけど、とても怖い乗り物だと分かった。」

「通学路で危なそうな所があるので、しっかり確認したい。」

「家に帰ってから、自転車のルールについて調べようと思った。」

といった声が寄せられています。

### 【実演状況】

#### 時速40km/hでの衝撃実験



#### 見通しの悪い交差点での自転車事故



(生徒参加型)

雨天時（体育館で実施）

#### 豆腐を使った実験（ヘルメット啓発）



#### 他の主な演目

- ・自転車の乗り方マナー
- ・歩行者用道路での自転車事故
- ・横断歩道での事故
- ・左折巻込み事故（対大型車）
- ・大型車の死角実験

等